



小学校4・5・6年生によるみかぐら (太地大運動会)

目次

平成27年度 太地町の決算	2
平成27年度 主要施策の成果	4
トピックス	10
議会報告	11
住民福祉課便り	12
くじらの博物館便り	14
お知らせ	16
盆供養花火大会収支決算報告書	17
保健衛生関係行事予定	18

平成27年度・太地町の決算

太地町の平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）決算がこの程まとなり9月に開かれた定例議会で認定されました。一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が41億6,628万1千円、歳出が38億9,691万2千円となりました。

限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力は、今後も続けていきたいと思っております。

平成27年度の決算の概要をお知らせいたします。



公民館エレベーター施設竣工式



町道山中2号線開通式

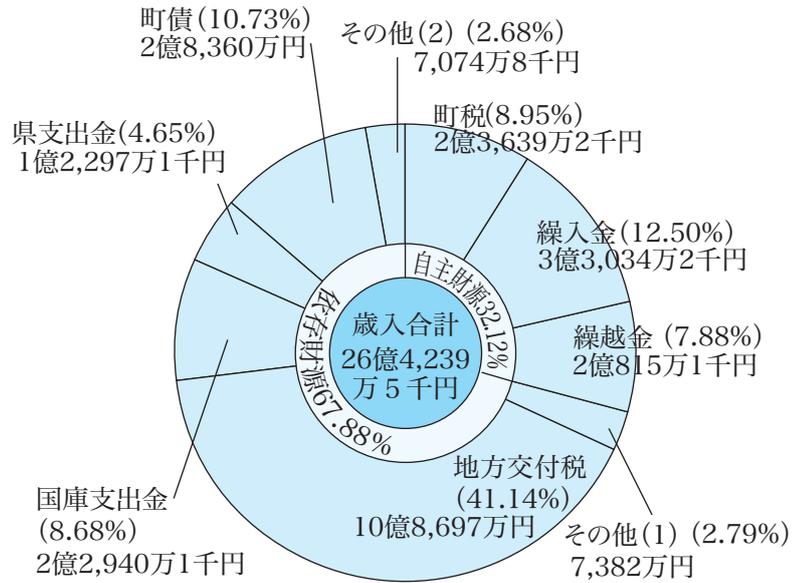
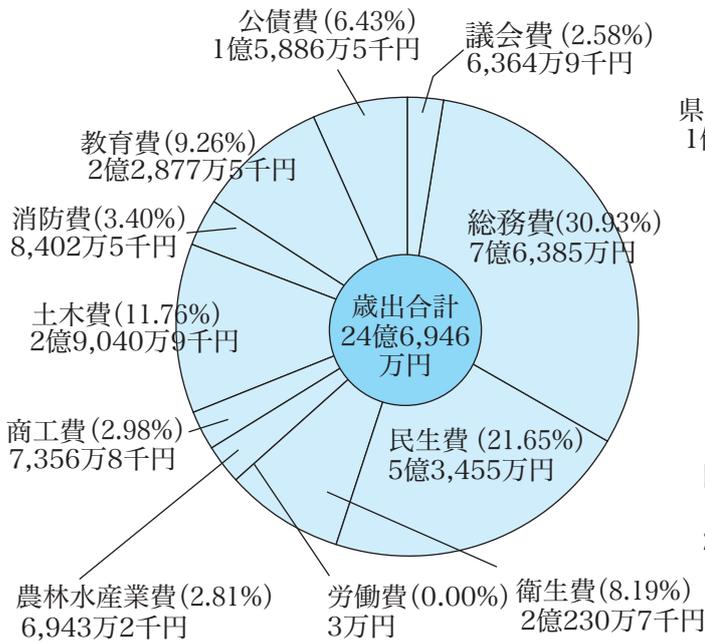
平成27年度 会計別決算状況

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	26億4,239万5千円	24億6,946万円	1億7,293万5千円
国民健康保険事業	6億1,505万4千円	6億277万2千円	1,228万2千円
公共下水道事業	6,268万8千円	6,261万円	7万8千円
くじらの博物館事業	3億3,353万6千円	2億7,211万5千円	6,142万1千円
介護保険事業	3億9,575万6千円	3億7,328万2千円	2,247万4千円
後期高齢者医療事業	1億1,685万2千円	1億1,667万2千円	18万円

企業会計	歳入	歳出	差引
水道事業	8,515万3千円	7,441万9千円	1,066万3千円

※企業会計の歳入歳出差し引き額の相違は消費税分です。

一般会計



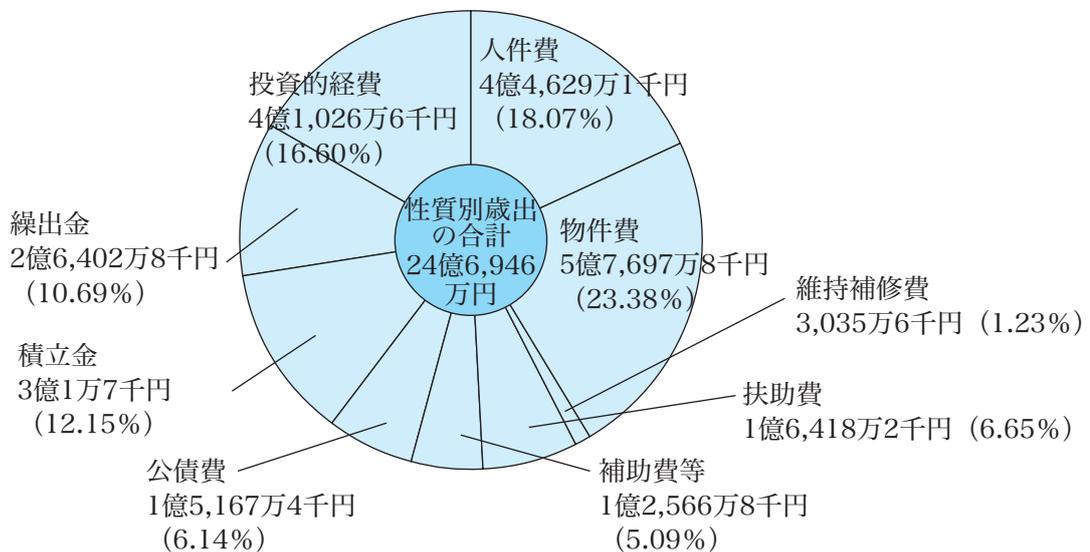
《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

自主財源とは町が自ら徴収または収納できる財源で当町の場合、歳入の約32%を占めています。また、依存財源とは国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約68%を占めています。

分担金及び負担金	499万6千円(0.19%)
使用料及び手数料	1,556万8千円(0.59%)
財産収入	302万8千円(0.11%)
寄附金	329万4千円(0.12%)
諸収入	4,693万4千円(1.78%)

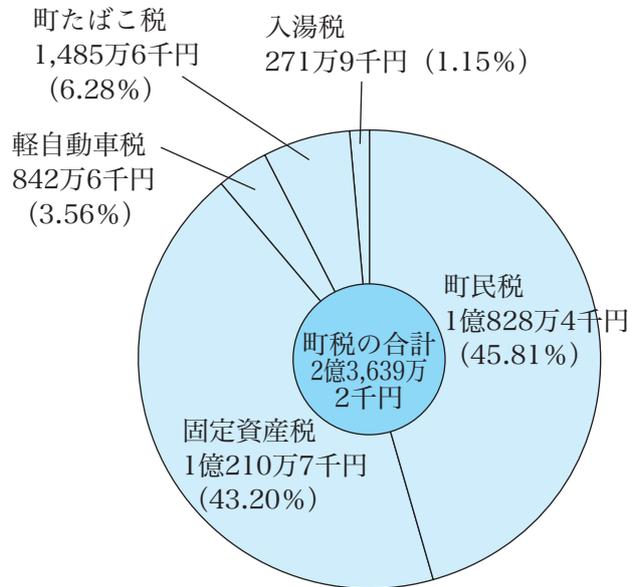
地方譲与税	1,037万7千円(0.39%)
利子割交付金	84万5千円(0.03%)
地方消費税交付金	5,169万3千円(1.96%)
自動車取得税交付金	229万3千円(0.09%)
地方特例交付金	91万1千円(0.03%)
配当割交付金	255万1千円(0.10%)
株式等譲渡所得割交付金	207万8千円(0.08%)



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記ようになります。

※住民基本台帳 人口 3,268人
(平成28年3月末現在)

町民税	33,135円
固定資産税	31,244円
軽自動車税	2,578円
町たばこ税	4,546円
入湯税	832円
合計	72,335円



平成27年度 主要施策の成果

総務関係

町営じゅんかんバス運行事業及び夏山地区タクシー券交付事業を引き続き実施、住民及び観光客の利便性向上のため平成28年度本格的に実施するフリー乗降制バスを購入するとともにバス停を改装した。また、防災力の強化・充実を図るため、再生可能エネルギー等導入推進基金を活用しLED避難路誘導灯を17基設置するとともに、町民の福祉の向上と高台への避難場所にも活用することができる施設として昨年購入した旧熊野の宿棚施設の改装に着手した。

企画関係では、将来構想としての森浦湾鯨の海構想に係る計画検討業務の実施を始め、地域振興施設道の駅の整備のため基本設計及び地質調査を実施した。また、在米太地人会創立100周年記念事業のため現地に職員を派遣し民間レベルでの交流を図るとともに、国際交流の更なる活性化のため、町内中学生を姉妹都市オーストラリア・ブルームへ派遣した。そのほか、将来構想の礎となる計画「太地町長期総合計画基本構想」、「太地町総合戦略」、「公共施設等総合管理計画」、と各種計画を策定した。

旧グリーンピア南紀跡地の利活用について、駐車場横の公衆便所を改築、施設の維持管理に努め、園地、施設等を一般に開放、グラウンド整備を行うとともに昨年度に引き続き太陽寮を警察官の宿舎として有効に活用した。

財政関係では、財政の健全な運営に資するために財政調整基金、減債基金への積立を行った。また、税の滞納圧縮のため、延滞金の徴収及び滞納処分を注ぎ、和歌山地方税回収機構を有効活用した。今後においても徴収率の向上に向け努力を重ねたい。

(単位：千円)

事業	金額	備考
町営じゅんかんバス運行事業	14,234	
フリー乗降制バス購入事業	4,911	
バス停整備事業	2,566	
夏山地区タクシー券交付事業	424	
旧グリーンピア南紀維持管理関係	20,246	賃金他
旧グリーンピア南紀公衆便所整備事業	35,381	解体撤去工事含む
長期総合計画策定事業	2,566	委員報償費含む
総合戦略策定事業	7,663	
公共施設等総合管理計画策定事業	4,320	
道の駅整備事業	13,637	基本設計及び地質調査
在米太地人会創立100周年記念事業	10,474	記念DVD制作費含む

事業	金額	備考
森浦湾鯨の海計画検討事業	1,634	計画検討委託及び委員報償費等
LED 避難誘導灯設置工事	13,125	町内 17 基（撤去費用含む）
基金積立事業	300,000	財政調整基金、減債基金

民生関係

住民の福祉、健康の向上のため、健康づくり体制の充実、医療の充実を図った。

就学児の健康の保持及び増進に寄与し福祉の向上を図るため就学児医療費（6歳～15歳）支給を実施するとともに、少子高齢化が進む中で、健やかな児童の成長と青少年の健全育成を願い、各施策を実施した。

高齢者が地域で安心して暮らせる健康づくり、居宅サービスと高齢者の生活を支える地域ケア事業を実施した。また、各種医療扶助を行うとともに国保加入者における予防事業として特定健診・特定保健指導事業、脳ドック事業を実施した。

介護予防事業では高齢者トレーニング事業、また、配食サービス事業、介護用品給付事業等、高齢者の生活支援事業の充実を図るとともに今後、益々認知症高齢者の増加が予測されるため、その対策としてサポーター養成講座を実施した。

（単位：千円）

事業	金額	備考
社会福祉費	82,190	国民健康保険事業会計への繰出金
	4,621	地域ケア事業委託料
老人福祉費	1,000	生活管理指導員派遣事業委託料（介護保険事業）
	1,376	理学療法士派遣事業
	2,342	配食サービス委託料（介護保険事業）
	223	介護用品給付事業費（介護保険事業）
	21,680	老人福祉施設入所措置費
	26	老人医療費
	1,875	緊急通報業務委託料
	4,013	南紀園分担金
	889	老人クラブ助成金他
	58,300	介護保険事業会計への繰出金
	69,433	後期高齢者医療事業会計への繰出金
児童福祉費	31,692	振興費、児童手当
乳幼児医療対策費	6,597	乳幼児医療費、就学児医療費
ひとり親福祉費	2,805	医療費、ひとり親家庭高校生就学援助費他
障害者（児）福祉費	12,702	医療費、福祉手当他
	85,506	障害福祉サービス費等

衛生関係

「健康でありたいと願うまちづくり」を進める中で住民の健康の保持増進を図り、疾病や感染症の予防のため、各種検診、予防接種等を実施した。今年度も、おたふく風、風しん、高齢者インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン接種に要する費用の助成を行った。

清掃センターの運営、維持管理を行い、施設内においては固形燃料施設の安全管理、また、各設備の補修、補完を行い今年度においては、パッカー車を購入した。また、環境衛生施設一部事務組合の運営に要する経費の負担や、浄化槽設置費補助を行った。その他工事関係では、平成26年度から繰り越して実施した森浦地区公衆便所が完成した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
保健衛生関係	18,565	予防費、母子対策費、健康増進費
	111,630	清掃センター運営費等
	3,070	浄化槽設置費補助金
	16,399	環境衛生施設一部事務組合負担金
	815	清水墓公衆便所管理費
	13,537	森浦地区公衆便所整備事業

労働関係

労働者福祉の促進を図るため、新宮東牟婁地域労働者福祉協議会に対し、助成事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	30	新宮東牟婁地域労働者福祉協議会助成金

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

鳥獣被害防止事業費として、有害鳥獣の捕獲報償、有害鳥獣からの防除等を対象に事業を行った。

水産総務費としては、毎年行われている海水質検査の委託と、大規模な津波の到来が予想される当地域における漁港防災対策として、太地漁港の外郭施設および係留施設の耐震、耐津波機能診断を実施した。

漁業振興費としては、毎年行われている稚魚放流事業として、平成25年度から行っているクエの放流事業を今年度も実施した。また、水産資源の増加並びに漁家収入の増大を図り、磯根漁場再生事業としてヒジキ場の造成と、マナモコの種苗の放流と調査を行った。

その他、護岸整備等を目的とした産地水産業強化支援事業補助金を漁協に交付した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業振興費	21	県土地改良事業団体連合会負担金
	45	水稻実行組合助成金
花畑等整備事業費	550	暖海公園植栽事業、沿道花壇の整備等
鳥獣被害防止事業費	1,599	鳥獣防除ネット等資材費補助金他
林業振興費	150	松食い虫被害木伐採委託料
ふれあいの森管理費	143	ふれあいの森管理費
水産総務費	95	水質（海水）検査委託料
	34,308	太地漁港機能保全計画策定業務委託料
漁業振興費	499	クエ稚魚放流事業
	100	緑のボランティア助成金
	1,800	稚貝稚魚放流事業助成金
	400	磯根漁場再生事業助成金（ナマコ）
	400	磯根漁場再生事業助成金（藻場再生）
	9,100	産地水産業強化支援事業補助金
捕鯨対策費	1,760	IWC 捕鯨全面禁止絶対反対太地町連絡協議会助成金他

商工関係

商工では、南紀くろしお商工会への助成等により、商業の振興に努めるとともに、今年度はプレミアム付商品券の発行事業を行い、地元需要の消費喚起を行った。

観光では、各種キャンペーン等に参加し、観光客誘客に努め、また、昨年に引き続き海水浴場内において「くじらに会える海水浴場」と題し、鯨類ふれあい事業を行った。さらに教育旅行誘致協議会を立ち上げ、スクールキャラバン等にも参加し、修学旅行の誘致活動を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	3,800	南紀くろしお商工会助成金
	284	公設市場負担金
	22,284	プレミアム付商品券発行事業
観光費（工事請負）	562	くじら浜海水浴場整備工事
観光費	3,363	海水浴場ふれあい事業費 鯨類借上料他
	5,094	吉野熊野国立公園熊野地域美化清掃協会分担金
	500	花火大会助成金
	228	教育旅行誘致活動費

土木関係

生活道路の整備を図るため、町内道路の整備・補修を行い、防災道路としての活用も期待される、山中2号線の整備を促進し、平成28年3月14日に供用開始を行った。

避難路の整備として、津波からは「とにかく逃げる事」が重要であることから、津波危険地域である清涼庵地区、森浦地区の避難路を整備し防災対策を推進した。

町営住宅の維持管理として、雨戸等の経年劣化した設備の修繕などを行った

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路改良費	169,236	山中2号線道路新設工事
	3,385	清涼庵地区避難路整備工事
	2,300	森浦地区避難路整備工事
住宅管理費	165	その他維持修繕料

消防関係

県下統一の事業である消防救急デジタル無線整備事業が完了した。災害に強いまちづくりのため地域防災計画を作成するとともに、住民参加型の避難訓練を実施し備蓄品を購入した。そのほか、津波避難タワーの塗装工事を実施した。救急関係では、救急技術向上のため消防署主催のメディカルコントロール協議会に参加するとともに、新規隊員養成のため1名が専科教育救急科に入校し資格を取得した。また、住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
常備消防費	211	専科教育救急科入校等費用
非常備消防費	37,084	消防救急無線整備事業負担金
災害対策費	511	備蓄品購入
	1,468	津波避難タワー塗装工事
	4,104	地域防災計画作成業務委託事業

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を併せて学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を引き続き推進した。

学校教育では、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「地域に根ざした学校づくり」を基本方針としてきめ細やかな指導を行った。

教育委員会事業では、平成18年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により登校指導を実施した。

小児生活習慣病予防対策事業は、児童・生徒と保護者の生活習慣病の実態を明らかにし、生活習慣病の影響を把握するとともに、今後健康的に大人に成長するために親子で検診の予防事業を実施した。

食事のマナー習得のため、中学3年生を対象にテーブルマナー習得講習会を実施した。

社会教育では、あらゆる活動を生涯教育と位置付け、町民一人ひとりが生きがいのある日々を送れるよう計画し、取り組んだ。

青少年健全育成事業として、特に夏休み中に地域のボランティア、警察等の協力のもと夜間パトロールを実施し、指導を行った。

また、児童を対象にした「ユークラブ」は遊びを通じ、大人と子どもが地域の住民や自然とのふれあいが出来るよう努めた。

保健体育では、市町村対抗ジュニア駅伝競走、町主催駅伝大会、グランドゴルフなど各種事業を行い、各種団体活動への助成を行った。また、文化財関係では、敷地や環境保護の整備に努めた。

教育委員会工事では、小学校水道配管修繕工事、小学校避難路（天狗山側）舗装工事、中学校雨樋工事、中学校屋内運動場雨漏り対策工事、中学校法面整備工事、幼稚園雨漏り対策工事、公民館エレベータ新設工事、公民館工作室改修工事を行った。また、昨年度着手した町民グラウンド公衆便所新築工事を完了した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
教育総務費	608	小児生活習慣病予防対策事業費
	1,661	学校教育指導主事共同設置負担金
	2,119	青少年センター分担金
	4,095	外国青年招致事業
小学校費	1,331	校舎校具等維持修理費
	1,703	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	817	姉妹都市白馬村児童派遣費補助金
	1,657	就学援助費
	4,123	小学校水道配管修繕、小学校避難路（天狗山側）
中学校費	560	校舎校具等修理費
	2,729	教材備品、一般備品、図書、給食備品
	532	生徒派遣費補助金
	130	テーブルマナー習得講習会時費用
	5,507	中学校屋内運動場雨漏り対策工事、中学校法面整備工事など
幼稚園費	415	就学援助費
	796	園舎教具等改修費
社会教育費	1,386	幼稚園雨漏り対策工事
	918	カレンダー印刷製品費
公民館費	150	いさな通学合宿事業
	450	文化講演会講師謝金
	33,180	公民館エレベータ新設工事、公民館工作室改修工事
	84	修繕費
文化財保護費	653	備品購入費
文化財保護費	200	太地町民芸保存会助成金
青少年健全育成費	838	青少年健全育成費
石垣記念館費	100	絵画展示会費
	6,059	冷暖房設備、屋根改修工事
保健体育総務費	442	ジュニア駅伝参加費
	605	町駅伝大会費用
	681	国体デモスポ競技費用
	387	スポーツ少年団活動助成金
	20,503	町民グラウンド公衆便所新築工事

～いつまでもお元気で～

9月21日（木）、町内在住の男性で最高齢の100歳になられた水谷酉藏さん、同じく女性で最高齢の100歳になられた長尾千鶴子さんのもとを町長が訪問し、長寿の祝福と敬老のお祝いをしました。

いつまでもお元気でお過ごしください。



水谷酉藏さん



長尾千鶴子さん

～太地大運動会が開催されました～

10月2日（日）、太地小学校グラウンドで「太陽の下、きらきら光る笑顔でゴール！」をスローガンに町民・太地小学校・太地こども園合同の太地大運動会が開催されました。

運動会では、子どもも大人も一つ一つの種目に全力で取り組んでいました。こども園園児たちのかわいらしい踊りや一般の方々によるムカデ競走、小学校児童たちのリレーが盛り上がりを見せ、白熱した運動会になりました。



小学校低学年リレー



一般の方たちによるムカデ競走

議 会 報 告

平成 28 年第 3 回太地町議会定例会

平成 28 年第 3 回太地町議会定例会が、9 月 14 日に開会しました。

今定例会には町長から、人事案件 3 件、諮問 1 件、報告 2 件、その他 1 件、補正予算 4 件、決算認定 7 件が提出され、審議されました。

一般質問では、3 名の議員から質問が行われ、町政一般について町の考えを問われました。

太地町固定資産評価審査委員会委員の選任

※阪 口 公 郎 氏

太地町教育委員会委員の任命

※寺 西 敏 次 氏

※清 水 文 氏

人権擁護委員候補者の推薦

※谷 晶 則 氏

報 告

※健全化判断比率の報告

※公営企業会計に係る資金不足比率の報告

その他

※和歌山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更 【可決】

補正予算

※平成 28 年度太地町一般会計補正予算（第 2 号） 【賛成多数で可決】

※平成 28 年度特別会計太地町国民健康保険事業補正予算（第 2 号） 【可決】

※平成 28 年度特別会計太地町介護保険事業補正予算（第 1 号） 【可決】

※平成 28 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業補正予算（第 1 号） 【可決】

決算の認定

※平成 27 年度太地町一般会計歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 27 年度特別会計太地町国民健康保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 27 年度特別会計太地町介護保険事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 27 年度特別会計太地町後期高齢者医療事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 27 年度特別会計太地町都市計画公共下水道事業歳入歳出決算 【認定】

※平成 27 年度特別会計太地町くじらの博物館事業歳入歳出決算 【賛成多数で認定】

※平成 27 年度企業会計太地町水道事業会計決算 【認定】

議員派遣の件

一般質問

※漁 野 尚 登 議員

1. 公衆トイレについて

①維持管理について

2. 旧棚について

①運営について

3. 道の駅について

①進捗状況について

4. 鯨の海構想について

①進捗状況について

②イルカ繁殖大規模研究との関連について

5. 7 月 20 日付の紀南新聞のインタビューについて

①三軒町政の今後について

②太地町の財政状況について

※花 村 計 議員

1. 倒壊の恐れのある空き家対策について

①現状認識について

②今後の見通しについて

2. 教育環境について

①学校給食費について

②複式学級について

3. 財政バランスについて

①基金残高の推移について

②今後の見通しについて

※水 野 隆 司 議員

1. 町政の疑義対応と方針について

①町民と職員のトラブルについて

②職員汚職の疑惑内容と事実関係について

③対応と方針について

2. 夜間防災について

①停電時（災害等による）使用可能な街灯の設置状況について

②夜間停電時の津波からの迅速避難を誘導する光環境整備について

3. 町内放送について

①防災情報（警報、注意報等）の町内放送時の取り決めや流れについて

平成 28 年第 3 回太地町議会臨時会

平成 28 年第 1 回太地町議会臨時会が、9 月 29 日に開会しました。

今臨時会には町長から、契約 1 件、財産の取得 1 件、補正予算 1 件が提出され審議されました。

契約

※道の駅たいじ地域振興施設整備工事請負契約 【賛成多数で可決】

財産の取得

【賛成多数で可決】

補正予算

※平成 28 年度特別会計太地町くじらの博物館事業補正予算（第 2 号） 【賛成多数で可決】

住民福祉課便り

健診はお済みになりましたか？

今年度の健診日程は下記のとおりです。日々の健康管理に役立てましょう。



日程	場所	内容
11月 15日 (火)	多目的センター	特定健診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診 ※午前のみ実施

※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。

★「肺がん検診」の事前申し込みは必要ありません。受診を希望される方は上記の検診実施日にお越しください。

★受診料・対象者などその他詳細につきましては、検診申し込み表とともに配布されている「各種健診のご案内」をご覧ください。

特定健診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診・胃がん検診・子宮がん検診・乳がん検診は平成29年1月まで下記の実施医療機関でも受けられます。受診券が必要になりますので、事前に下記までお申し込みください。

検診の種類	実施医療機関
特定健診 肝炎ウイルス検診 前立腺がん検診 胃がん検診(胃内視鏡検査)	坂野医院
子宮がん検診	いずみウィメンズクリニック(新宮市) 産婦人科矢島医院(新宮市) 新宮市立医療センター(新宮市)
乳がん検診	新宮市立医療センター(新宮市) けんゆうクリニック(串本町)

◎ 健診の申し込み先

- 太地町役場住民福祉課 または
- 健康づくり推進員

筒井 恵美	平 見
清水 文	大 東
磯崎 多津子	小東・寄子路
庄司 和子	新屋敷
奥村 洋子	水の浦
小畑 真里	暖 海
太田 卓子	森 浦
上中 佳苗	

中学校職場体験学習

9月末に中学校職場体験学習が行われました。太地町役場には、9月27日から28日にかけて、太地中学校3年生の岡本 駿^{しゅん}さんと漁野 海人^{かいと}さんの2名が職場体験に来られました。

職場体験とは、生徒の皆さんが町内の事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

今回の住民福祉課における職場体験では、住民福祉課職員や地域包括支援センター職員と一緒に、レスキューポットの配布や高齢者宅への訪問活動、男の人の料理教室の参加、その他住民福祉課の事務作業等を体験してもらいました。



▲レスキューポットの配布と説明。



▲男の人の料理教室では、他の男性参加者の方と一緒に調理をしました。



平成28年度臨時福祉給付金 及び 年金生活者等支援臨時福祉給付金 (障害・遺族基礎年金受給者向け)

申請期限 平成29年1月31日

	平成28年度臨時福祉給付金	年金生活者等支援臨時福祉給付金 (障害・遺族基礎年金受給者向け)
支給対象者	平成28年度分の住民税(均等割)が課税されていない方 ※ただし、課税されている方の扶養親族等の方、また生活保護の受給者等は対象外となります。 ※年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者向け、障害・遺族基礎年金向け)(3万円)の支給対象者も受給できます。	平成28年度臨時福祉給付金の対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している方。 ※年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者向け) <3万円> 受給者を除きます
支給金額	対象者1人につき3,000円(支給は1回です。)	対象者1人につき30,000円(支給は1回です。)

※太地町では、給付対象と思われる方に、8月上旬に申請書を同封したお知らせを送付しています。この給付金を受け取るには、申請が必要です。平成28年1月1日に住民票のある市町村へ申請して下さい。

その他、給付金についてのご相談等は下記までご連絡下さい。

- ・厚生労働省相談窓口専用ダイヤル TEL 0570-037-192 [受付時間] 平日 9:00~18:00
- ・太地町役場 住民福祉課 TEL 0735-59-2335

児童虐待防止推進月間

平成16年度から、児童虐待防止法が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、社会的関心の喚起を図るために、集中的な広報・啓発活動を行っています。全国から寄せられた応募から、審査の結果、平成28年度の児童虐待防止推進月間の標語は下記の作品に決定されました。

「さしのべて あなたのその手 いちはやく」

虐待から子どもたちを守るためには、地域の皆さんの気づきが大切です。

日頃から子どもたちに関心を持ち「児童虐待かもしれない?」と感じることがあったら、児童相談所全国共通ダイヤル「189」や、県の児童相談所またはお住まいの市町村の児童福祉担当窓口へご連絡ください。



お問い合わせ先

- 児童相談所全国共通ダイヤル **189**
- 和歌山県紀南児童相談所新宮分室 TEL 0735-21-9634
- 太地町役場 住民福祉課 児童福祉係 TEL 0735-59-2335

戦没者遺児による慰霊友好親善事業

日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。同事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。

費用は、参加費として10万円。前回の参加から5年を経過した方(平成22年以前参加者)は2回目の応募ができます。

日程等の詳細については、日本遺族会事務局(TEL:03-3261-5521)まで。

お申込は、お住まいの各都道府県遺族会までお願いします。

(和歌山県遺族連合会 TEL:073-424-5813)



ターミナル島のアメリカ人教師と日本人生徒

American Teachers and Japanese Students in Terminal Island

北米西海岸に渡った日本人は、森林伐採や鉄道工事、農業など、当初はいろいろな仕事をしていました。貝や魚を獲ることに慣れてきた人々は、やがて海に豊富な水産資源があると知って漁業を始めました。1910年頃になって、ロサンゼルス港の一角にあるターミナル島フィッシュ・ハーバーに次々と魚の缶詰工場が建設されると、太地をはじめ紀伊半島南部の漁村出身者たちがたくさん雇われるようになりました。

缶詰工場の労働者のうち、日系人だけは、工場のすぐ後ろ側に建設された借家に家族と一緒に住んでいました。戦争が始まる前には3千人ほどにもなっていたそうです。島で生まれる子供も増えたので、1918年に公立イースト・サンペドロ小学校が創設されました。島には日本から来た一世と、島で生まれた二世だけが住んでいますから、ほぼ全員の生徒の親は日本人でした。その一方で学校は公立ですから、先生全員はアメリカ人で、多くは白人の女性でした。

授業で使う言葉は英語で、日本語を使わないように先生は生徒に指導していました。その一方で、校庭の一角には生徒の親が造った本格的な日本庭園があり、池には朱の塗り橋がかかっていました。1931年には300本の桜の木が校庭に植えられました。桃の節句には、校庭が提灯と造花で飾り付けられ、女子生徒たちは和服を着て舞いました。端午の節句には巨大な鯉のぼりが島のいたるところで泳いでいました。

学校では、生徒だけでなく、親たちも先生から英語やアメリカ人の生活マナーを習いました。生徒の親たちは父兄会と婦人会を組織し、学校を支援しました。皆から「戸間の爺やん」と、先生からは「ジイヤン」と呼ばれ慕われた太地出身の戸間鶴松氏は父兄会代表として大いに活躍したそうです。アメリカ人教師と島の日本人社会は強い信頼関係で結ばれていました。

1941年12月7日、日本軍によるハワイ真珠湾攻撃から日米間に戦争が始まりました。その日から島の日系一世の男性がFBI連邦捜査局によって拘束され、連行されました。年が明けて2月にはすべての日系人が強制的に島から追い出され、やがて砂漠に造成された収容所に入ることを余儀なくされました。島の学校も、島民がいなくなると廃止されました。

廃校のとき教頭であったアニー・ガルシア先生は、アルバムに250枚以上の写真を貼って大切に保存していました。それを先生の子孫がロサンゼルス・ハーバー・カレッジの図書館に寄贈したので、希望者は見ることができます。アルバムの最後の頁に貼られた写真の日付は1942年2月で、ガルシア先生と彼女を囲んだ生徒の笑顔が、私にはやや不思議に感じられました。戦争が始まった後も、学校が消える最後のときまで、島の学校では、先生と生徒の間の信頼関係が損なわれることはなかったのだと今では理解しています。



アニー・ガルシア先生と島の生徒たち。(ロサンゼルス・ハーバー・カレッジ図書館所蔵)

たまごのはなし

11月5日は、日本養鶏協会とその関係業界団体が定める「いいたまごの日」だそうです。お母さんのおっぱいで子育てをする「ほ乳類」であるクジラを扱うくじらの博物館は、たまごとは無縁と思われる方も多いかもかもしれません。しかし、私たちは意外なところでたまごと接点をもつこともあるのです。今回は、そんなたまごのお話をご紹介します。

さて、写真のたまごをご覧ください(写真1)。これは、「ペンギンのたまご」として当館に御寄贈頂いたものです。かつて南氷洋捕鯨に、太地の町から多くの人々参加し、活躍されてきたことは皆さんもご存じのことと思います。その際に人を恐れないペンギンを捕まえたり、持ち帰ったりされたという話をお聞きになった方も多いのではないのでしょうか。おそらくその時に卵もたくさん持ち帰られたのだと思います。博物館では町内の方からペンギンの剥製やたまごの標本を御寄贈頂くケースが少なくありません。このたまごもそういった経緯で博物館にやってきました。

たまごの形は、1) 卵形、2) 洋ナシ形、3) 円形、4) 楕円形の4つのタイプに分けられます(図1)。ここで、たまごがどうして卵形になったのかを考えてみましょう。ニワトリのたまごを机の上に置いてみます。すると、尖った方が机の面に近く、丸い方が机の面から離れた状態で止まるはず。これはたまごの重心がずれているからで、もし楕円形であれば机と並行になって止まります。では、重心がずれて傾いていることにどんなメリットがあるのでしょうか。答えは斜面にたまごを置いてみると分かります。斜面に置いたたまごはどのような位置においても、下まで転がり落ちずにたまごの尖った方を上に向けて止まるのです。つまり卵形は、親鳥がたまごを抱いているとき、万が一巣からたまごが転がり出たとしても元の場所に自動的に戻るための合理的な形だということができるのです。一般に卵形はニワトリに代表され、洋ナシ形は海鳥に多いといわれています。そして、円形はウミガメ、楕円形はダチョウに代表されます。先ほどの考え方に基づくと、崖や海の側など不安定な転がりやすい場所でたまごを温める種類は卵形や洋ナシ形で、砂浜や草原など平坦な転がりにくい地形でたまごを温める種類は円形や楕円形をしているのではないかと考えることができそうです。

話を例のたまごに戻しましょう。写真2で示している4種類のペンギンのたまごと比べてみると、ペンギンのたまごが卵形や洋ナシ形をしているのに対して、例のたまごは洋ナシ形というよりも楕円形に近いように見えます。正確なことは分かりませんが、大きさや形から判断して、このたまごの正体はダチョウのたまごなのではないかと思われれます。ダチョウのたまごは殻が丈夫なのでお土産品や工芸品に使われます。このたまごもそんな異国の情緒を伝えるお土産品だったのかもかもしれません。

今回、御寄贈頂いた資料からたまごの形について考える機会を与えて頂きました。皆さんも毎日の食卓でたまごをみかけたとき、「なんでこんな形になったのかな?」と思いめぐらせてみてはいかがでしょうか。

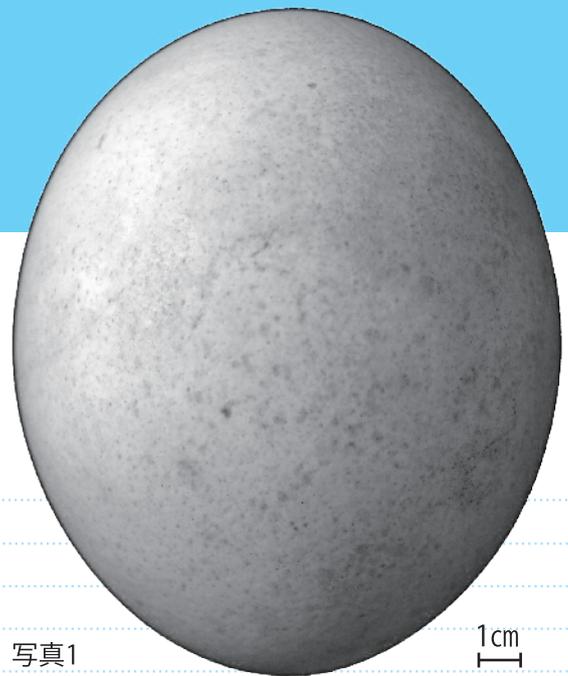
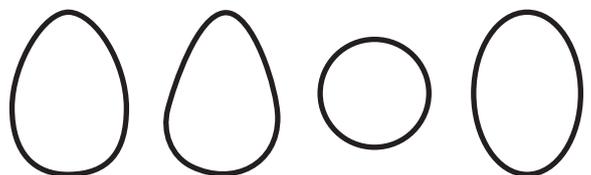


写真1



1) 卵形 2) 洋ナシ形 3) 円形 4) 楕円形

図1 形の分類(『鳥類の図鑑』(小学館)より)

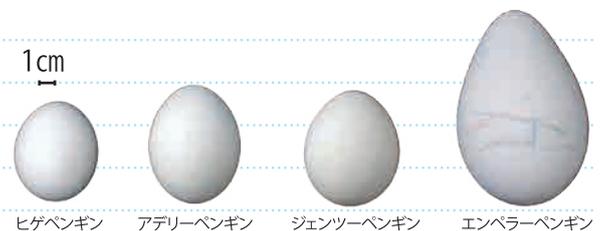


写真2 ペンギンのたまご

お知らせ

太地いきいき
情報コーナー

「税を考える週間」

国税庁では、国民の皆様には税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、様々な広報活動を実施しております。

また、国税庁ホームページ内に「暮らしを支える税」をテーマとした特設ページを設け、調査や徴収の仕事をドラマ仕立てで紹介するなど、国税庁の各種取組を掲載しています。

詳しくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

～ 11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です～

警察の犯罪被害者支援施策のご案内

◆ 犯罪被害給付制度

故意の犯罪行為により、不慮の死亡、重傷病又は障害の被害を受けながら損害賠償等を得られない被害者又はご遺族に、国が給付金を支給する制度

◆ カウンセリング制度

不安等を抱える被害者やご家族に、専門家によるカウンセリング費用を公費で実施

◆ 性犯罪被害への医療費負担制度

性感染症等の医療費を公費で負担

※ 各制度には対象範囲や除外事由があります。

公益社団法人紀の国被害者支援センター

同センターは、法律に基づく早期援助団体です。犯罪被害を受けた方の相談等を無料で受け付けています。

お問い合わせ先：和歌山県警察本部 警察相談課 073-423-0110（代）

和歌山県新宮警察署 警務課 0735-21-0110（代）

受付時間 午前9時～午後5時45分（土日祝を除く）

平成28年度 各種講習日程表（12月～3月）

建設業労働災害防止協会 和歌山県支部

TEL (073) 436-1327 FAX (073) 426-3987

講習場所：和歌山県建設会館 3F 会議室

講習の名称	日時	受講料等	受付開始日
型枠支保工の組立て等作業主任者	12月6日（火）～12月7日（水）	¥10,600	11月7日（月）～
足場の組立て等作業主任者	1月24日（火）～1月25日（水）	¥10,300	12月26日（月）～
木造建築物の組立て等作業主任者	2月7日（火）～2月8日（水）	¥10,200	1月10日（火）～
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	3月7日（火）～3月9日（木）	¥17,700	2月6日（月）～

《注》定員になり次第、締め切ります。講義時間は、いずれもAM9:00～PM5:00

受講料は、御持参いただくか、又は現金書留でお願いします。

受講料等には、テキスト代が含まれています。

平成28年度盆供養花火大会収支決算書

平成28年度盆供養花火大会が、8月14日に開催されました。町民各位のご高配とご支援により、無事挙行できましたことに謹んで御礼申し上げます。

遅くなりましたが、次のとおり収支決算をご報告させていただきます。今後とも、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収入の部

科 目	金 額	摘 要
1. 寄付金及び 補助金	5,263,700円	特別協賛 3,389,000円 町内一般協賛 1,174,700円 町助成金 500,000円 追善供養 200,000円
2. 繰越金	294,509円	平成27年度繰越金
3. 利息	74円	預金利息
合 計	5,558,283円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
1. 事業費	4,900,000円	花火代金 紀州煙火 和田煙火
2. 賃 金	161,320円	海上警備・臨時バス運転 雑踏警備・ユニックオペ代
3. 需用費	105,205円	消耗品費、食糧費、プログラ ム印刷費
4. 役務費	74,819円	口座振替取扱手数料、郵便 料・傷害保険料、印紙代 クリーニング代
5. 委託費	37,800円	音響設置委託
6. 賃借料	36,828円	ユニックレンタル料
合 計	5,315,972円	

収入支出差引金額（翌年度繰越金） 242,311円

太地町花火大会実行委員会
委員長 藤 木 一 史

《保健衛生関係 11 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場 所
11月17日(木)	ちびっ子ひろば	9:30～10:30	ふれあいルーム
11月24日(木)			

健康相談

月 日	事業名	時間	場 所
11月8日(火)	成人健康相談(血压測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
11月9日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
11月14日(月)	成人健康相談(血压測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健康教育

月 日	事業名	時間	場 所
11月7日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
11月21日(月)			
11月14日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
11月28日(月)			

健診

月 日	事業名	時間	場 所
11月15日(火)	特定健診・肝炎・前立腺・胃・大腸がん、胸部検診	8:30～9:30(受付)	多目的センター
11月17日(木)	10か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
11月24日(木)	4か月児健診	13:00～13:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】



白馬村村制施行60周年

白馬村は昭和31年9月30日に旧北城村と旧神城村が合併してから60年を迎え、10月1日にウイング21にて記念式典及び記念講演を開催しました。

式典では村内のコーラスグループによる合唱から始まり、各分野において活躍された村政功労者の表彰や60周年記念映像の上映が行われました。

また、式典後の記念講演では冒険家の三浦雄一郎氏に出演していただき、世界最高齢でのエベレスト登頂に成功した時の体験や新たな挑戦について語っていただきました。

住民基本台帳
(平成28年9月末日現在)
総人口 3,264人
男 1,480人
女 1,784人
世帯数 1,635世帯
(前月比: 総人口 17人減
世帯数 5世帯減)

**飼い犬・飼い猫のフンの後始末は
飼い主が責任を持って行いましょう。
また、飼い猫以外には餌を与えない
てください。**



役場 住民福祉課